

岩井 雅崇 講師

(大阪大・准教授)

談話会	<p>5月25日(月) 16:00～</p> <p>「Chern類の不等式と構造定理 “宮岡-Yau不等式と宮岡の不等式”」</p> <p>n次元複素多様体には、第1Chern類から第nChern類までの基本的な不変量がある。宮岡-Yau不等式や宮岡の不等式は、Chern類のうち第1Chern類と第2Chern類の間に成り立つ不等式であり、多様体に数値的な制限を与える。さらに面白いことに、等号が成立すると、普遍被覆が単位球になるなど、多様体の構造が非常に特別なものに限られることが知られている。本講演では、「Chern類の不等式」と「等号成立時の構造定理」に関して紹介する。</p>
講義 期間 ・ 題目 ・ 内容	<p>5月26日(火)～5月29日(金)</p> <p>各日 15:00～18:00</p> <p>「Chern類と複素幾何学」</p> <p>Chern類はベクトル束や多様体に付随する幾何学的な不変量であり、接続や曲率を用いて定義される。とくに第1Chern類および第2Chern類は複素多様体や代数多様体の構造を理解するうえで重要な役割を果たす。その代表的な例として、第2Chern類に関する Miyaoka-Yau 不等式が挙げられる。この不等式の等号が成立するとき、普遍被覆が単位球となることが知られている。本授業では第2Chern類を中心として複素幾何学および代数幾何学におけるその応用を学ぶ。</p>
会場	川井ホール